

問 こども支援課 本3階  
TEL 0287-23-8634

授乳室で搾乳ができます

●搾乳とは

産後の女性が母乳を自分で搾ることです。産後は、授乳をしない間にも身体で母乳が作られるため、職場復帰などで授乳回数が減った場合、母乳が溜まって乳房が張ることがあります。張りを放置した場合、乳房などに痛みや熱が出たり、母乳の量が減ったりする可能性があります。

●授乳室での搾乳について

出産後の女性の中には、入院中の赤ちゃんに母乳を届けるためや、早期に復職した場合など、さまざまな理由から外出先で搾乳を必要とする方がいます。こどもと一緒にいない状況であっても、授乳室で安心して搾乳できるよう、社会全体で搾乳に対する知識・理解を深め、環境を整えていくことが重要です。

●搾乳ができる旨の表示について

市では、搾乳が必要な方が気兼ねなく授乳スペースを利用できるように、市の施設における授乳室に、下記のような搾乳でも授乳室を利用できる旨のマークを掲示しています。

衛生的で、落ち着いて搾乳ができる場所があれば、産後の女性が乳房の張りや痛みを我慢して体調を崩したりすることを防ぐことができます。

搾乳が必要な方々が安心して搾乳できるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



『搾乳マーク』  
授乳室で搾乳ができる旨を示すマーク

●授乳室が設置してある市の施設

|   | 施設名         | 備考      |
|---|-------------|---------|
| 1 | 市役所本庁舎      | 1階・3階   |
| 2 | 子ども未来館      |         |
| 3 | つどいの広場 さくやま |         |
| 4 | 道の駅那須与一の郷   | 情報館     |
| 5 | 大田原市火葬場     | 待合室     |
| 6 | 栃木県立 県北体育館  | 男女更衣室 ※ |

※県北体育館における搾乳は、女子更衣室のみ可能です。



大田原市はたちの集い(成人式)

問 生涯学習課 本4階  
TEL 0287-23-2005

20歳の方を対象に、大田原市はたちの集いを開催します。

●日時 令和8年1月3日(土) 10:00から

●場所 那須野が原ハーモニーホール

●対象者 平成17年4月2日～平成18年4月1日に生まれた方で、大田原市はたちの集いに参加を希望する方  
※令和7年11月1日現在市内に住民登録のある方には、11月中旬に案内状を郵送します。

詳細は、市HPをご覧ください。



▶市内に住民登録のない方ではたちの集いに参加を希望される方



12月1日(日)までに、生涯学習課へ直接電話、または応募フォームからお申し込みください。

▶地区別集合写真の撮影のご案内



当日、地区別の集合写真を撮影します。市外中学校の卒業生や国際医療福祉大学生、特別支援学校などの卒業生で地区別の集合写真に参加されない方は、希望者に対して撮影を行います。撮影を希望される方は、12月12日(金)までに、生涯学習課へ直接電話、または撮影用回答フォームからお申し込みください。



令和7年大田原市はたちの集い

令和7年大田原市はたちの集いは、730名がはたちの節目を迎えられ、476名の皆さまが出席しました。

当日は華やかな振袖やスーツを着て、両親をはじめとした支えてくれた方々への感謝と未来への希望を胸に抱いて式典に参加しました。

身近な生物から感染

## ダニや蚊などから感染する感染症に気を付けましょう

健康政策課 本 3階

0287-23-8704

秋の時期でもマダニや蚊は活動しています。虫さされに気を付けましょう。重症化すると死に至る感染症もありますので、感染が疑われる場合は早めに医療機関を受診してください。

|    | 感染症名                | 病原体の媒介生物    | 潜伏期間・症状   | 予防・対処法   |
|----|---------------------|-------------|---|--|
| ダニ | 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) | マダニ類(※1)    | 潜伏期間:6~14日程度<br>症状:発熱、吐き気、腹痛、下痢、筋肉痛、リンパ節腫脹、出血症状など | <b>予防法:</b> ①山や草むらなどに入る時は、帽子、首掛けタオル、手袋、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴などを着用し、肌の露出を少なくする②虫除け剤を使用する③屋外活動後はシャワーや入浴でダニに咬まれていないか確認する<br><b>対処法:</b> 吸血中のダニは、無理に引き抜こうとすると、ダニの体の一部が皮膚内に残ってしまうため、医療機関を受診してください                                    |
|    | つつが虫病               | ツツガムシ       | 潜伏期間:5~14日程度<br>症状:全身倦怠感、食欲不振、頭痛、悪寒、発熱など          |  |
| 蚊  | デング熱                | ヒトスジシマカ(※2) | 潜伏期間:2~14日程度<br>症状:発熱、発疹、頭痛、骨関節痛、嘔吐など             | <b>予防法:</b> ①屋外で活動する時は、長袖、長ズボンなどを着用し、肌の露出を少なくする②虫除け剤を使用する③屋外に置かれたバケツや空きビン、水が溜まる可能性のあるものを放置しないようにする④側溝など周辺の水たまりを定期的に清掃する<br>※日本脳炎はワクチンがあり、小児を対象に定期接種を実施しています<br><b>対処法:</b> ①特効薬はありませんので、対症療法となります②感染が疑われる場合は、医療機関を受診してください |
|    | 日本脳炎                | コガタアカイエカ    | 潜伏期間:6~16日程度<br>症状:高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなど           |  |
|    | チクングニア熱             | ネッタイシマカ     | 潜伏期間:2~12日程度<br>症状:発熱、関節痛、発疹など                    |  |
|    | ジカウイルス病 (ジカ熱)       | ヒトスジシマカ     |   |  |

※1 家庭内に生息するコナダニ（食品類）やヒョウヒダニ（衣類や寝具）などとは種類が異なります。

※2 ヤブカ属の一種で背中に1本の白い線があり、体長は3~5mmほどの黒と白の縞模様が特徴の蚊です。

令和6年度

## 大田原市役所地球温暖化防止実行計画(事務事業編)取組結果

生活環境課 本 2階

0287-23-8775

市では、地球温暖化防止対策に率先して取り組んでいます。本計画(第5期計画)では、基準年度を平成25年度として、令和7年度までに二酸化炭素排出量を15%削減することを目標としています。今後も目標達成に向けて積極的な取組を実施していきます。

| 項目             | 基準年度値(a)              | 目標                    |         | 結果                   |           |
|----------------|-----------------------|-----------------------|---------|----------------------|-----------|
|                |                       | R7目標値                 | 増減率     | R6実績値(b)             | 比較(b/a-1) |
| 二酸化炭素排出量       | 10,157t               | 8,633t                | -15%    | 8,441t               | -16.9%    |
| 電力使用量          | 13,571,000kwh         | 12,756,740kwh         | -6%     | 12,418,665kwh        | -8.5%     |
| 庁舎燃料使用量(原油換算値) | 801,000L              | 736,920L              | -8%     | 691,924L             | -13.6%    |
| 車両燃料使用量(原油換算値) | 406,000L              | 369,460L              | -9%     | 301,002L             | -25.9%    |
| 用紙使用量          | 15,208,000枚           | 11,406,000枚           | -25%    | 10,990,888枚          | -27.7%    |
| 水道使用量(※1)      | 162,000m <sup>3</sup> | 162,000m <sup>3</sup> | 基準年度値以下 | 95,411m <sup>3</sup> | -41.1%    |
| 廃棄物量           | 183,000kg             | 172,569kg             | -5.7%   | 142,523kg            | -22.1%    |
| リサイクル率(※2)     |                       | 18.5%                 |         | 37.2%                |           |
| グリーン購入率(※3)    |                       | 100%                  |         | 98%                  |           |

(※1) 水道使用量の基準年度値は指定管理など施設の使用量を含まないため、R6実績値は指定管理など施設の使用量を除いた数値です。

(※2) リサイクル率 = 資源ごみの量 ÷ ごみ全体量

(※3) 「大田原市役所グリーン購入基本方針」で定める物品(環境への負荷ができるだけ少ないもの)などの購入割合で、グリーン購入率 = 環境配慮物品調達額 ÷ 年間総調達額です。